

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和7年7月10日
タイトル	「水の旅」～田んぼの水はどこから来てどこへ?～
水土里レポーター名	小田川土地改良区 主幹 打越仁美

令和7年6月、青森県五所川原市立いずみ小学校4年生27名、五所川原市立金木小学校4年生31名を対象に、青森県土地改良事業団体連合会など関係機関のご協力のもと『「水の旅」～田んぼの水はどこから来てどこへ?～』を行いました。

「水の旅」は、家や学校の周りに広がる田んぼの「水」がどこから来てどこへ向かうのか、ダムやため池など農業用施設を見学するとともに、健全な水循環の中で森林が果たす役割について理解を深めてもらうことを目的としています。

子どもたちは普段見ることができない小田川ダムの取水ゲートや尻無揚水機場の大きなポンプに興味深そうに見学したり、中央管理所では遠隔カメラで農業用施設に隠れたぬいぐるみを探したり、ため池の水位や様子を確認するカメラ操作体験をしました。また、青森県土地改良事業団体連合会の方から「水循環システム」について説明を受けた後、森林の働きや簡易ろ過装置を用いて実験を行い水質浄化の仕組みなどを学びました。

当土地改良区では、今後もこの活動を通じて、土地改良区の仕事や役割を理解してもらうとともに、食と生活を支える水循環システムを地域のみみんなで大切に守っていく気持ちを育てていきたいと思えます。

・ 令和7年6月13日（金）五所川原市立いずみ小学校4年生27名



小田川ダム取水施設について学ぶ



尻無揚水機場でポンプの仕組みについて学ぶ

・ 令和7年6月20日（金）五所川原市立金木小学校4年生31名



水循環システムについて学ぶ



簡易ろ過装置を利用したろ過実験